

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	ドリームズ・21st 久居射場校		
○保護者評価実施期間	2025年11月25日		2025年12月26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	83世帯	(回答者数) 65世帯
○従業者評価実施期間	2025年11月25日		2025年12月26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	長期休みのイベントについて、生徒たちも楽しみにしているという意見を多数いただいた。普段はコミュニケーションが少ない生徒も、一緒に調理やゲームをすることで会話の回数が増え、良い関係づくりができていていると感じている。	学年は関係なく、みんなで助け合いながら取り組むことに重点を置き、楽しかったと思って下校できるようなイベントを提案、実践している。	様々なイベントを通じ、普段お友達との関わりが少ない生徒もコミュニケーションが取れるようサポートを行う。生徒たちにどんなイベントがしたいか聞き取りを行い、生徒主導のイベントも検討していく。
2	日々のレッスンを通して、それぞれの利用者に合った強みをみつけ、それを活かせるよう漢字検定、パソコン検定への受験に繋がられている。	1人1人の取り組みの状況を毎日職員間で共有し、検定に向けて必要な内容を擦り合わせ、日々のレッスンに取り入れるようにしている。	パソコンレッスンでは、これまで取組んでいなかったプログラミング分野へのレッスンやイベントを視野入れ、パソコン学習の幅を広げられるよう計画している。
3	半年に1回懇談の機会を設けて、生徒の様子や支援に対するご要望を伺い、ドリームズでの様子もお伝えしている。	事前にアセスメントシートのご記入をお願いし、それに沿って懇談を進めている。対面の他にも、電話やZOOMでの対応も行っている。	懇談以外にも、こまめに保護者との連携を図り、より充実した支援につながるよう取り組んでいく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者への活動内容報告が少ないという意見をいただいた。	職員の意識不足や、長期休みイベント時の人員配置の都合により活動報告の実施が難しいことがあった。	活動報告に向けての業務体制の見直しをし、何らかの媒体での報告を実践していく。子ども達が頑張っている姿を保護者にも見ていただきたいという意見もあるので、文章だけでなく写真も活用しながら報告を行う。
2	入口が狭い印象との意見をいただいている。玄関の広さはすぐには変えられないが、混雑解消に向けた取り組みが必要である。	おわりの会后、お迎えを待つ生徒、送迎車に乗る生徒で玄関前に10名以上集まることがあるので、どうしても混雑してしまっている。玄関に保護者対応の指導員は配置しているが、タイミングによっては危険を感じる瞬間もある。	玄関周りには生徒が集中しないよう、お迎えが来た生徒から順番に呼ぶ、送迎車が到着してから呼ぶようにする。2階でレッスンを受けている生徒も、すぐに1階には下りず、一旦待機して随時呼んでいく。
3	避難訓練はあるのかと問い合わせがあった。訓練は定期的に行っているが、利用者・指導員全員の参加は難しい状況である。	年に2回以上の避難訓練は継続して行っているが、土曜日や小学部の早帰り時など限られた日にしか行っていなかった。ドリームズでの避難訓練を経験したことがない生徒もいるので、実施日を検討する必要がある。	災害に意識を向けたイベントを取り入れたり、非常時の持ち出し品の点検を定期的に行う。また、災害時の対応についても契約時にお渡しするのみに留まっていたので、緊急連絡先のお知らせと一緒に年1回以上配布していく。